

## 「暮らしの安全モデル校指定事業」事業実施報告書

モデル校指定校名：美濃市立大矢田小学校

1 事業の実施期間 指定を受けた日から令和3年3月15日

### 2 学校の概要

学校名	美濃市立大矢田小学校
学級数	通常学級：各学年1学級、特別支援学級：1学級
児童生徒数	全児童数：110人(令和2年4月1日現在)
URL	<a href="http://www.edu.city.mino.gifu.jp/oyada-e/">http://www.edu.city.mino.gifu.jp/oyada-e/</a>

### 3 調査研究のテーマ

家庭科の内容「C 消費生活・環境」の学習を通して消費者教育を行うとともに、その他の教科(社会科、保健体育科等)、特別活動やすべての学校教育活動において、「暮らしの安全」に関わる学習活動を行うための計画、実践をする。

本校は、『すべての児童が学ぶ楽しさ、「わかる」「できる」喜びを実感できる授業づくり』を研究主題に掲げ、日々の学習を大切に進めてきた。これまでも、「暮らしの安全」については、家庭科の授業や特別活動、学校行事などにおいて、それぞれ行ってきたが、「暮らしの安全」という視点から、統合的に指導が行われているわけではない。そこで、岐阜県環境生活部県民生活課より発行されている『～小学校高学年向け～暮らしの安全ガイドブック』を活用し、低学年から高学年までの全校児童に対し、消費者教育を中心とした「暮らしの安全」教育を展開していくこととした。

また、インターネットトラブルやSNSを介したいじめ問題など日常に潜む危険が低年齢化しており、小学生にも迫ってきていると感じている。そこで、5年生の家庭科「持続可能な暮らしへ物やお金の使い方」の授業研究を通して、児童の実態や意識を捉え、実態に合った指導をしていくことで、「暮らしの安全」について身近な問題として考え、判断できる児童の育成を図りたいと考えた。

### 4 調査研究の内容等

#### (1) 調査研究の内容・実施日程

①教科(家庭科)「C 消費生活・環境」の学習を通して、消費者教育を行う。

- ・事前アンケートによる実態把握
- ・児童の意識を高め、変容を促す授業過程の工夫
- ・授業後、通信を通じて家庭と学習内容を共有し、連携を図る。

②その他の教科(社会科、保健体育科等)、特別活動やすべての学校教育活動において、

「暮らしの安全」に関わる学習活動を実施する。

I 消費生活

- 1 お金の大切さ
- 2 「選ぶ」について
- 3 「買う」について
- 4 「払う」について
- 5 インターネットトラブルについて 【総合的な学習の時間】
- 6 悪徳商法 【家庭科】

【家庭科】

II 防犯

- 7 不審者対応 【いのちを守る訓練】
- 8 身近に起こる犯罪 【学活】

III 交通安全 【交通安全教室】

IV 地域の活動への参加 【家庭科】



「暮らしの安全ガイドブック」  
活用の様子

9月 シェイクアウト訓練



11月 命を守る訓練



年間スケジュール

時期	内容	備考
4月6日	○拡大研推による研究の方向性確認	12名
6月第1週	○命を守る訓練(火災対応:避難経路確認)	全校児童110人
6月22日	○交通安全指導	全校児童110人
6月23日	○交通安全指導事後指導	→暮らしの安全ガイドブック使用
9月1日	○命を守る訓練(シェイクアウト)	全校児童110人
10月21日	○全校研究会【家庭科】	→暮らしの安全ガイドブック使用
11月27日	○命を守る訓練(地震対応)	全校児童110人
12月22日	○インターネットトラブルについて【総合的な学習の時間】 ○身近に起こる犯罪【学活】	4年生以上48名
2月	○悪質商法について【家庭科】	110人→ガイドブック使用
3月	○命を守る訓練(シェイクアウト,日時予告せず) ○地域の活動への参加【家庭科】※本年度は見合わせ ○研究のまとめ(拡大研推)	5・6年38人→ガイドブック使用 全校児童110人 5年生児童21人 12名

(2) 調査研究の成果と課題

研究内容①に関わって

【事前アンケート】

**家庭科アンケート** 5年\_\_番 名前\_\_\_\_\_

1 最近買い物をしましたか。  
 はい いいえ  
 「はい」と答えた人は、どこで何を買いましたか。  
 ( )

2 自分のお金で買い物をしたことはありますか。  
 はい いいえ  
 「はい」と答えた人は、どこで何を買いましたか。  
 ( )

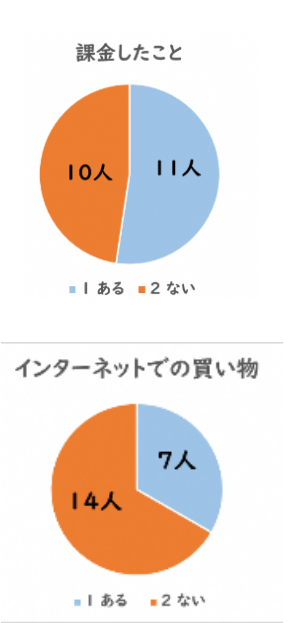
3 買い物をするときに気を付けていることはありますか。すべてに○をつけてください。  
 ①おうちの人に相談してから買う。  
 ②本当に必要か考えてから買っている。  
 ③まだ使えるときは、最後まで使い切ってから新しいものを買っている。  
 ④自分のお金で買えるものを買っている。  
 ⑤環境によい商品を買っている。  
 ⑥その他 ( )  
 ⑦特に気を付けていることはない。

4 インターネットで買い物をしたことはありますか。  
 はい いいえ 家族の人はしている

5 インターネットで買い物をして、困ったことはありますか。  
 また、困ったことがある人を知っていますか。  
 はい いいえ 知っている  
 「はい」と答えた人はどんな困ったことが教えてください。  
 ( )

6 オンラインゲームなどで課金したことはありますか。  
 はい いいえ

アンケート結果より



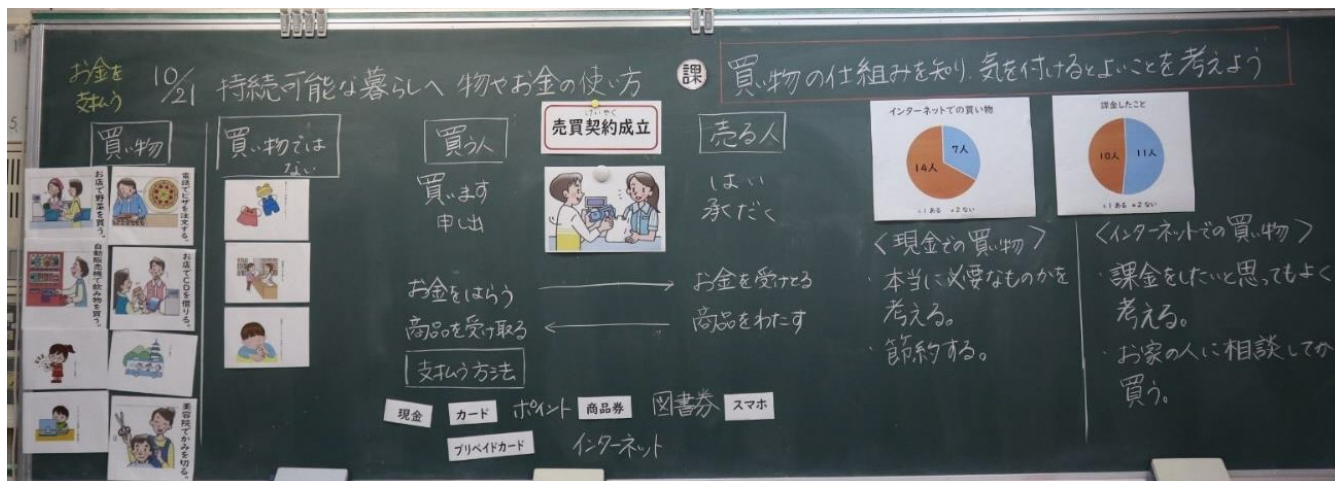
【学習後の児童の意識の変化】

- ◆今日授業で学ぶまで、「これください」と申し出をしても、商品は返せるものだと思っていたけれど、申し出・承諾で売買契約が成立することを初めて知りました。これからは、契約の成立に気を付けて買い物をしたいです。
- ◆今日、商品の契約について知り、インターネットでの買い物に気をつけたいと思いました。現金で買い物するときは、いつ契約が成立するか考えながら買い物をしたいです。
- ◆今までは、「欲しい!欲しい!」と買いたがっていたけど、今日の勉強で一回考えて本当に必要か判断することが大切だとわかりました。
- ◆今までも相談することはできていたので続けたいけど、ネットで念入りにチェックし、無駄遣いしてしまうことがたまにあるので、目的のものだけをチェックして買いたいです。



## 【成果と課題】

- 事前アンケートを行うことによって、児童の実態に即した学習過程を仕組むことができ、児童の意識の変容につながった。さらに、アンケート結果の中で特に指導したいことをグラフ化して示したり、授業の導入でひとりひとりにカードを配り分類させたりすることによって、すべての児童が興味を持ち取り組める授業内容となった。
- 本年度は、新しい生活様式の中で工夫して学習を仕組んできた。本来なら、教科の授業においてもっと話し合い活動を取り入れたり、他学年へ学びの発信をしたり、地域行事への参加を行ったりしたかったが、本年度は見合わせることにしたのが残念であった。



## 研究内容②に関わって

[家庭科の授業より]

- 「暮らしの安全ガイドブック」を一人一冊副教材として活用することによって、視覚的に情報を得ることができすべての児童が意欲的に参加することができた。
- 「暮らしの安全ガイドブック」には、暮らしの安全に関わる様々な情報が一冊の本にまとめてあるので、学習内容に即した内容を選択し、指導に活用することができた。
- e-ネットキャラバンの活用(無料)は、身近に潜むネットトラブル等を学ぶのに有効であるが、緊急事態宣言のため、中止した。
- 高学年用の資料であるため、低学年には大型テレビに映して見せる工夫をしたが、十分理解することができたかどうかは、難しい。担任が学年に応じた説明をしたが、低学年用の資料もあるとよいと感じた。

## その他

- 美濃連合PTAの「オンラインゲーム及びスマートフォン&タブレット等の利用に関わるルール作りの啓発活動」を受け、美濃市連合PTA会長より、全校児童に向けてゲームやSNSの使い方等に関わる話をしていただいた。その後、各学級でも話し合いを行った。また、PTAから保護者向けの啓発資料を美濃市全体に配付され、保護者と学校と共に児童を見守っていくことを再確認でき、「暮らしの安全」について見つめなおす良い機会となった。